科目名称：	色彩学（ビジネス実務学科）	
担当者名：	鳴海　智子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2

授業の目的・テーマ

　主に色彩士検定３級を受験するために必要な知識を習得します。職場や生活において色の選択は日常的に行われるため、色の持つ力を利用してコミュニケーションを円滑にする方法やインテリアやファションなど用途に応じた 基礎的な配色法も学ぶ。

授業の達成目標・到達目標

カラーマスター色彩士検定3級テキストに沿って演習課題に取り組み色彩の基本を習得する。
色彩に対する興味や探究心を育て、生活や仕事の実践で役立つ配色法を習得する。
授業ごとに受験対策過去問題集の解説をし理解を深め、単元ごとに確認テストを行う。

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	0	30	50	20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

色彩士検定試験を受験するための授業なので、定期試験は行わず確認テストや検定試験対策授業で行う模擬試験などで対応します。
検定試験の演習・実技問題に関しては、検定対策授業で集中的に取り組みます。

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
色彩基本課題１～４	文字が読みやすく文章も簡潔に分かりやすく丁寧に仕上げてある。	わりと丁寧に仕上げてある。	少し雑だが一応基本を理解して仕上げてある。	課題１～４のいずれか未完成。
色彩応用課題５	色彩構成にセンスや個性が光り文章も分かりやすくまとめられれ、全体のレイアウトも美しく仕上がっている。	努力が感じられ真面目に取り組み丁寧にしあげてある。	色彩構成に余白があり仕上げが雑であるが一応出来ている。	色彩構成を中途半端にして提出してある。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回	色彩学を学ぶ意義・色の歴史 演習課題 1：「Color 自己分析」	教科書１章 いろのなりたち を読んでおく。	20分
第２回	第１章 色のなりたち － 物体の色 演習課題 1：「Color 自己分析」（グループワーク）	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第３回	第１章 色のなりたち － 目の構造と視細胞 演習課題 2：「PCCS　色相環」	１章で学んだことをノートにまとめる。	30分
第４回	第２章 混色 － 加法混色 演習課題 2：「PCCS　色相環」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第５回	第２章 混色 － 減法混色 演習課題 2：「PCCS　色相環」	２章で学んだ加法・減法混色の違いをノートにまとめ理解する。	30分
第６回	第３章 色の表示方法 － 色の三属性 演習課題 3：「PCCS　等色相面」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第７回	第３章 色の表示方法 － ヒュートーンシステム 演習課題 3：「PCCS　等色相面」	３章で学んだヒュートーンシステム等をノートにまとめ理解する。	30分
第８回	第４章 色の知覚的効果 － 色の対比・同化 演習課題 3：「PCCS　等色相面」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第９回	第４章 色の知覚的効果 － 感覚に及ぼす色の効果 演習課題 4：「トーン：色調のイメージをつかむ」	４章で学んだトーン：色調のイメージをノートにまとめ理解する。	40分
第10回	第５章 色の心理的効果 － 色の象徴性 演習課題 4：「トーン：色調のイメージをつかむ」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	40分
第11回	第５章 色の心理的効果 － 色の習慣 演習課題 4：「トーン：色調のイメージをつかむ」	課題５表紙の色彩構成のためのアイデアスケッチを描く。	40分
第12回	第６章 色彩調和 － 色相を基準にした配色 演習課題 5：「色彩表現」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	40分
第13回	第６章 色彩調和 － トーンを基準にした配色 演習課題 5：「色彩表現」	教科書の見直し、プリントの間違い箇所を復習する。　課題５表紙制作に取り組む	50分
第14回	第６章 色彩調和 － 基本的な配色技法 演習課題 5：「色彩表現」	６章で学んだ基本的配色法をノートにまとめ理解する。 課題１～５仕上げる。	50分
第15回	総括・色彩士検定 理論問題確認小テスト	過去問題の間違った箇所を見直し理解する。提出課題ファイルに不備がないか確認し提出の準備をする。	50分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事後学修としては、授業中に実施した確認テストを復習しておく。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。
A4ファイル表紙5課題20%　授業後のまとめ・感想ノート30%　課題１～4：色彩基礎演習課題50%

課題に対してのフィードバック

課題ファイル提出後に改善点、問題点があればコメントする。

教科書・参考書

教科書：　Color Master BASIC（NPO法人 アデック出版局）
配色カード199a
色彩士検定3級受験対策　過去問題Vol.３